



今月の *Best shot*

全校生徒を前に、白虎隊、朱雀隊の各団長が、今年の体育祭にける熱い想いを堂々と語りました。



今月のトピックス

TOPICS

01 心を一つに 全校ダンス！



体育祭に向け、講師の先生をお招きして全校ダンスを練習しました。ダンス実行委員を中心に、全校生徒が動きを合わせながら本番に向けて仕上げています。

02 みんなの色が 一つの作品に



文化祭に向け、全校生徒でモザイクアートづくりに取り組みました。それぞれが指定されたマスを一つずつ丁寧に塗り、みんなの力で一枚の作品をつくり上げていきます。

03 新チーム 初めての公式戦へ！



9月13日(日)・19日(土)、柳井市新人体育大会が開催され、新チーム初の大会で練習の成果を発揮しようと各部頑張りました。

04 昼休みに ちょこっと ボランティア！



9月15日(火)、全校生徒から集めたベルマークの仕分け作業をボランティアで行いました。集まった生徒たちで、一枚一枚丁寧に仕分けしました。

05 大舞台で 堂々のスピーチ！



9月18日(金)、英語暗唱弁論大会に、本校から2名の生徒が出場しました。ジェスチャーを交えながら、練習してきた成果を発揮し、堂々と発表しました。

特集 1

想いを伝え、仲間を動かす ～体育祭へ本格始動！～



体育祭に向けた本格的な練習が始まりました。全校ダンスや応援練習、各学年種目・個人種目など、校内のさまざまな場所で本番に向けた動きが活発になっています。その中心にいるのが、体育祭実行委員会をはじめ、全校ダンス実行委員、隊係などのリーダーたちです。自分たちがまず動くだけでなく、仲間にも声をかけ、動きを伝え、ときには全体の前に立って練習を進めています。どうすればみんなに伝わるのか、どうすればよりよいものになるのかを考えながら、自分の言葉で語り、行動する姿が各所で見られるようになりました。リーダーの呼びかけに仲間が応え、その仲間の姿がまた次の動きを生み出していく――。一人一人が自分の役割を果たしながら、仲間とともに体育祭をつくり上げようとしています。練習を重ねる中で、自分の想いをもち、それを周囲に伝えながら行動する生徒たちの姿が、少しずつ頼もしくなっています。

特集 2

新チーム、最初の一步 ～柳井市新人体育大会～



3年生の引退後、1・2年生による新チームが初めて挑む中体連大会となる柳井市新人体育大会が開催されました。新たなメンバー、新たな役割で迎えた大会。これまでの練習で積み重ねてきたことを発揮しようと、それぞれが精いっぱい競技に臨みました。試合を通して得た手応えや見つかった課題を、これからの練習や次の大会へとつなげていきます。

【試合結果】

軟式野球	対 田布施中・平生中	○5-4
	対 柳井中	●1-15
バレー	対 柳井中	●0-2
バスケ男子	対 柳井中	●48-65※田布施中との合同チームで出場
バスケ女子	対 柳井中	敗退 ※田布施中との合同チームで出場
卓球	団体 男子 対 柳井中	●1-3
	女子 対 柳井中	●1-3
	個人 男子 久田巳晴	3位 ★県大会出場
	末藤晴渡	5位 ★県大会出場
	女子 石原芽花	3位 ★県大会出場
	小田陽鞠	4位 ★県大会出場

見つけた秋を、十七音に ～やまぐちフラワーランドで秋の吟行～



9月25日(金)、全校でやまぐちフラワーランドへ秋の吟行に出かけました。青々とした芝生と色とりどりの花々に囲まれた園内を歩きながら、生徒たちは目に留まった景色や心が動いた瞬間を、自分なりの感性で捉えていきました。普段なら何気なく通り過ぎてしまうような風景にも足を止め、じっくりと眺めながら俳句の題材を探す姿が見られました。

今回の吟行には、地域の方々にも講師として参加していただきました。生徒たちは、自分がつくった句を見てもらい、言葉の選び方や表現について丁寧なアドバイスを受けながら推敲を重ねました。感じたことをどの言葉で表すのか、限られた十七音の中で何を残すのか。一つ一つの言葉と向き合いながら、自分らしい表現を探していきました。

同じ景色を見ても、心に留まるものや感じ方、選ぶ言葉は一人一人違います。身近な自然をじっくりと見つめ、地域の方々との交流も楽しみながら、そこで見つけた「自分だけの秋」を十七音に表す、豊かな時間となりました。

みんなで創る文化祭 ～それぞれの場所で輝く力～



今年は体育祭が10月初旬に開催されるため、校内では体育祭の練習と並行して、文化祭に向けた準備も進んでいます。限られた時間の中、生徒たちは気持ちを切り替えながら、それぞれの活動に取り組んでいます。

全校で制作するモザイク画では、一人一人が指定されたマスに色を塗り、みんなの力を一枚の大きな作品へとつないでいます。また、校内からは合唱コンクールに向けて歌声が聞こえ始め、少しずつ文化祭に向けた雰囲気も高まってきました。

3年生は劇の準備にも力が入っています。演じる練習だけでなく、舞台を支える道具係も大忙し。劇で使う道具を一生懸命につくる姿からは、自分の役割を果たして、みんなで一つのものをつくり上げようとする思いが伝わってきます。

体育祭と文化祭、二つの大きな行事に同時に向き合う日々。それぞれの場所で力を発揮する生徒たちの手によって、文化祭も少しずつ形になり始めています。

クローズアップ

10分、15分から始めよう ～広がる「ちょこボラ」の輪～



「ボランティアに参加してみたいけれど、きっかけがない」「まとまった時間をとるのは難しい」——そんな生徒でも気軽に一歩を踏み出せるように始まったのが、通称「ちょこボラ」です。

ちょこボラとは、ほんの10分、15分でできる「ちょっとしたボランティア」のこと。短い時間でできるさまざまな活動を設定することで、自分の都合が合うときに、誰でも気軽に参加できるようにしています。特に、これまでボランティア活動に参加したことのない生徒にも、「これなら自分にもできそう」と最初の一歩を踏み出してもらうことが、この取組の大きなねらいです。

そして、ちょこボラを動かしているのは生徒たち自身です。生徒会執行部や各専門委員長が中心となり、「どんな活動なら参加しやすいか」「学校のために何ができるか」を考えながら、さまざまな活動を企画しています。

大切なのは、特別なことをすることではなく、自分にできることを見つけて、まずやってみること。10分、15分の小さな行動が次の一歩につながり、少しずつ学校の中にボランティアの輪が広がっています。

Snap Shot



西中の様子を
ホームページで！



ホームページはこちら



生徒の活動の様子を
毎日配信中！
是非、ご覧ください！